

3回目接種券を順次送付

新型コロナウイルスワクチン接種

市ワフチンコールセンター ☎0570(02)2599
午前9時～午後5時(土・日曜日・祝日も対応)

3回目の接種について

新型コロナウイルスワクチンを2回接種した場合であっても、時間の経過に伴い、感染予防効果などの低下が報告されています。

このことから、2回目の接種完了から原則8カ月以上間隔を空けて追加接種をするという国の方針に基づき、市は追加接種に向けた準備を進めています。

対象は①～③を全て満たす人です。

①2回目接種を完了した日から、原則8カ月以上が経過している②18歳以上③日本国内での2回目接種または2回目接種に相当する接種が完了している。

接種券は、3年6・7月に2回目の接種を完了した人(主に65歳以上の高齢者)には、1月中旬に発送します。それ以降の人にはワクチンの

供給量などを踏まえ、順次送付。接種券の発送と接種開始の時期については下表の通りです。

会場と当日の服装

接種は総合体育館での集団接種を予定しています。総合体育館へは阪急・能勢電鉄川西能勢口駅から無料シャトルバスを運行予定。なお、療養病床に入院中や特別養護老人ホームなどの高齢者施設に在所中の人は施設内で接種の予定です。

また、接種当日は肩を出しやすい服装で来てください。

予約方法と今後の方針

予約の方法など詳しくは、接種券に同封する案内文書でお知らせします。

追加接種分のワクチンはモデルナ製とファイザー製が45対55の割合で供給される予定です。市としては、モデルナ

製ワクチンの予約・接種から開始します。

今後、国の方針やワクチンの供給量・時期などにより、予定を変更する場合があります。最新情報は、市ホームページなどで確認できます。

追加接種(3回目)の接種スケジュール(予定)

対象者	主に65歳以上の高齢者		18歳以上
	6月中旬に2回目接種が完了した人	7月中旬に2回目接種が完了した人	8月中旬に2回目接種が完了した人
接種券の発送時期	1月中旬		順次発送
接種の開始時期	2月下旬	3月上旬	未定

※上記スケジュールは接種間隔を8カ月で想定したものです。接種間隔の前倒しなど国の方針により変更する場合があります。

令和3年分

確定申告の相談と受け付け

所得税および復興特別所得税・消費税・贈与税が対象

伊丹税務署 ☎072(779)6121
市民税課 ☎072(740)1132

機関を利用してください。

入場には

整理券が必要

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、混雑を回避するため、入場には整理券(当日配付またはLINEを通じてオンラインで事前発行)が必要です。配付状況によっては、後日の来場となる場合もあります。

また、スマートフォンや自宅のパソコンでも、確定申告書を作成することができます。詳しくは、国税庁のホームページへ <https://www.nta.go.jp/> (左の2次元コードからアクセス可) か伊丹税務署 ☎072(779)6121へ。



特定配当等・特定株式等譲渡所得がある人へ

確定申告書の二表で、住民

税において全て申告不要とした場合、市民税課へ「申告不要等申出書」の提出は必要ありません。一部のみ申告不要とする場合、同課へ同申出書を提出してください。詳しくは、市ホームページ(下の2次元コードからアクセス可)へ。



市内会場での受け付けは中止

確定申告「アステ川西」会場の受け付けが中止になります。伊丹税務署やSRビル伊丹に来るのが難しい場合は、郵送やスマートフォンなどの電子申請で提出してください。

郵送の提出で申告書の控えを希望する人は、確定申告書を郵送する際に返信用封筒を同封してください。

郷土館

☎072(794)3354

新春を祝う

こま遊びと和太鼓

日時 1月9日(日) 和太鼓 午前9時半～10時、正午～午後0時半
こま 【実演】午前10時～11時
【遊び体験】午前11時～正午

こま愛好家の枇杷紘一朗さんと喜代子さんが、青森の「ずぐり」や人形のからくりごまなど、全国の珍しい民芸こまなどを使ったこま回しを実演。こま回しの体験もできます。また、水舞流和太鼓「羽衣」による和太鼓の演奏(雨天中止)を同日開催。入場には、団体割引の入館料が必要です。



和菓子作り体験教室

日時 1月28日(金) 午後1時半～3時半

茶巾絞りや菓子木型を使った季節の和菓子作りを行います。講師=いな川本舗「上政」の上野和信さん▷費用=1,000円▷定員=12人▷申し込み=1月5日(水)午前10時から電話で郷土館へ(先着順)

病床の確保や自宅療養者への支援、プロジェクトチームの配置

医療・教育現場で第6波に備える

医療の逼迫に備え市独自で支援

第6波に備え、阪神間では入院患者受入病床が427床確保され、そのうち市内4病院で83床が準備されています(出典:3年12月15日時点の厚生労働省資料)。また、医療逼迫に備え、新型コロナウイルス感染症に罹患した自宅療養者への支援として、市では以下の①～③の取り組みを独自に行います。

①家族や親類の援助が受けられない単身者などへ県の支援が届くまでの間、食料や衛生品を提供②伊丹健康福祉事務所などの依頼により、パルスオキシメーターを配

送③市内急性期病院と連携し、独居や老老介護の人などに電話による健康観察を実施。

教育現場と連携したプロジェクトチームを結成

教育推進部の保健師を中心に「学校園所コロナ対応プロジェクトチーム」を結成しています。同チームでは、市立学校・幼稚園・保育所・認定こども園などで陽性者が確認された場合、伊丹健康福祉事務所が実施していた濃厚接触者の調査などの業務を代行。教育現場とスムーズに連携し、より迅速に対応できる体制を整えています。

問い合わせ 自宅療養者への支援 保健センター ☎072(758)4721
学校園所のコロナ対応 学校園所コロナ対応プロジェクトチーム ☎072(740)3006